

# 京成グループ中期経営計画 「E1プラン」(2010-2012年度)総括



2013年5月16日  
京成電鉄株式会社

## 目次

	頁
1. 2013年3月期実績(前回予想との比較)	1
2. 「E1プラン」数値計画目標との比較	2
3. 鉄道事業の達成状況	3~6
4. バス事業の達成状況	7~8
5. タクシー事業の達成状況	9~10
6. 流通業の達成状況	11
7. 不動産業の達成状況	12
8. 「E2プラン」数値目標	13
9. 「Eプラン」数値計画の推移	14

# 2013年3月期実績(前回予想との比較)



## ◇前回予想(2012年10月31日付 決算短信発表値)との比較

	2013年3月期			
	実績	前回予想	増減	増減率
営業収益	2,441億円	2,452億円	△11億円	△0.5%
営業利益 (営業利益率)	230億円 (9.4%)	212億円 (8.6%)	18億円 (-)	8.4% (-)
経常利益	306億円	277億円	29億円	10.5%
当期純利益	220億円	184億円	36億円	19.4%
有利子負債残高 (EBITDA倍率)	3,935億円 (8.8倍)	3,939億円 (9.1倍)	△4億円 (-)	△0.1% (-)

※有利子負債残高にはリース債務を含む

※EBITDA倍率=有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

1

# 「E1プラン」数値計画目標との比較



## ◇「E1プラン」各年度実績及び最終年度目標

	実績			目標
	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2013年3月期
営業利益 (営業利益率)	204億円 (8.6%)	199億円 (8.7%)	230億円 (9.4%)	230億円以上 (9%以上)
経常利益	209億円	222億円	306億円	220億円以上
有利子負債残高 (EBITDA倍率)	4,203億円 (9.9倍)	4,073億円 (9.7倍)	3,935億円 (8.8倍)	4,100億円以下 (9倍以下)

2

# 鉄道事業の達成状況①

## ◇当社鉄道事業 輸送人員・旅客運輸収入推移

### 1. 全線 輸送人員・旅客運輸収入

(単位:千人、百万円)

A	F4プラン	E1プラン							
	2010年3月期 実績	2011年3月期		2012年3月期		2013年3月期		対2010年 3月期	
		実績	対前年	実績	対前年	実績	対前年		
輸送人員	257,358	258,809	0.6%	255,590	△1.2%	261,200	2.2%	1.5%	
旅客運輸収入	49,844	52,329	5.0%	52,014	△0.6%	54,811	5.4%	10.0%	
(内 有料特急)	輸送人員	3,714	4,033	8.6%	3,495	△13.3%	4,082	16.8%	9.9%
	料金収入	2,574	3,518	36.7%	3,332	△5.3%	3,895	16.9%	51.3%

※有料特急の数値には空港発着以外の乗降を含みます

(輸送人員は千人未満を四捨五入して表示しております  
旅客運輸収入及び特急料金収入は百万円未満を切り捨てて表示しております)

# 鉄道事業の達成状況②

## 2-1. 空港発着 輸送人員・旅客運輸収入

(単位:千人、百万円)

B	F4プラン	E1プラン						
	2010年3月期 実績	2011年3月期		2012年3月期		2013年3月期		対2010年 3月期
		実績	対前年	実績	対前年	実績	対前年	
輸送人員	14,217	14,434	1.5%	13,731	△4.9%	15,319	11.6%	7.8%
旅客運輸収入	9,838	11,939	21.4%	11,727	△1.8%	13,695	16.8%	39.2%

・輸送人員(2013年3月期実績)の内、空港発着の占める割合は5.9%(2010年3月期実績比+0.4%)

・旅客運輸収入(2013年3月期実績)の内、空港発着の占める割合は25.0%(2010年3月期実績比+5.3%)

## 2-2. 空港発着以外 輸送人員・旅客運輸収入

(単位:千人、百万円)

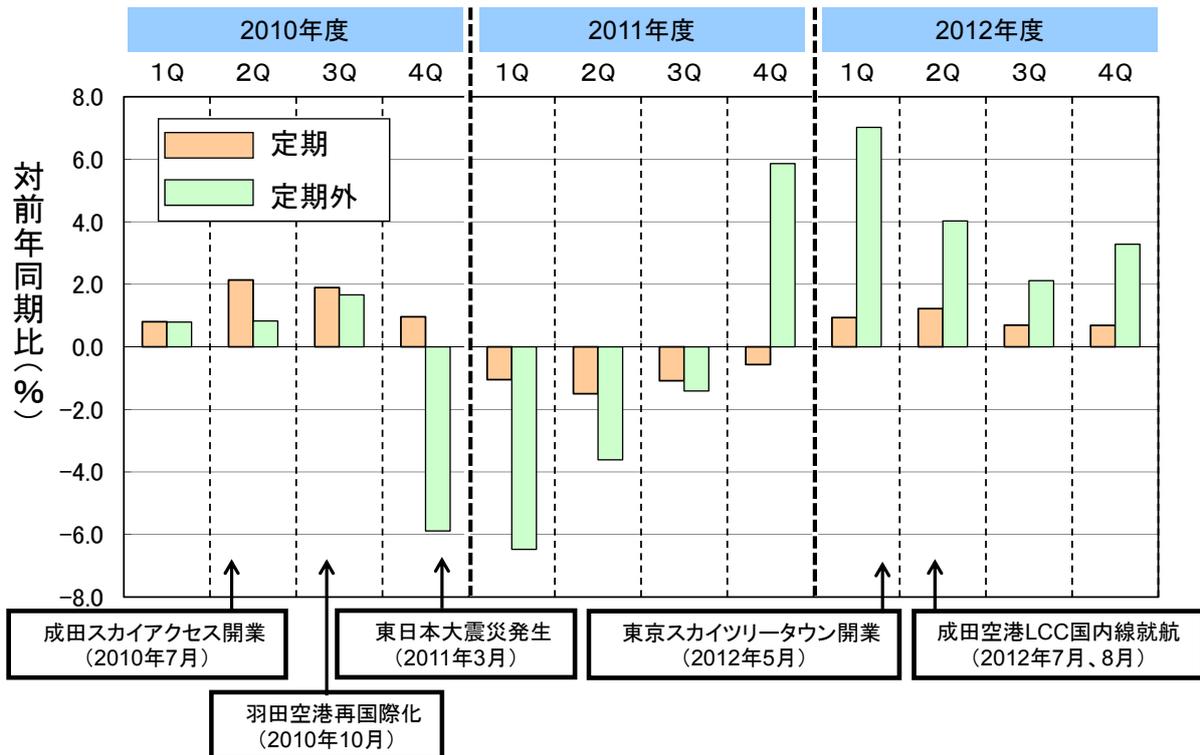
A-B	F4プラン	E1プラン						
	2010年3月期 実績	2011年3月期		2012年3月期		2013年3月期		対2010年 3月期
		実績	対前年	実績	対前年	実績	対前年	
輸送人員	243,141	244,375	0.5%	241,859	△1.0%	245,881	1.7%	1.1%
旅客運輸収入	40,005	40,389	1.0%	40,286	△0.3%	41,115	2.1%	2.8%

・東京スカイツリータウンの開業(2012年5月)により輸送人員が増加

# 鉄道事業の達成状況③

## ◇当社輸送人員(対前年同期比)の四半期別推移

- ・震災の影響から回復(2011年度第4四半期以降、対前年同期比増)
- ・輸送人員増及び増収要因:震災反動増、海外旅行者数増、東京スカイツリー開業



# 鉄道事業の達成状況④

## 競争力並びに収益力の強化

### ◇成田スカイアクセスの開業

- ・2010年7月、成田空港への新たなアクセスルートとなる成田スカイアクセス開業  
日暮里～空港第2ビル間を新型スカイライナー(最高時速160km)により、最速36分で運行  
一般特急「アクセス特急」を新設し、成田スカイアクセス経由で運行

### ◇お客様利便性の向上

- ・2012年10月、大規模なダイヤ改正を実施し、成田スカイアクセスの利便性向上  
スカイライナーでは成田空港方面の早朝列車を新設したほか、需要の高い時間帯で増発  
一般特急「アクセス特急」の停車時間等を見直し、所要時分を短縮(押上～成田空港間:4～9分)

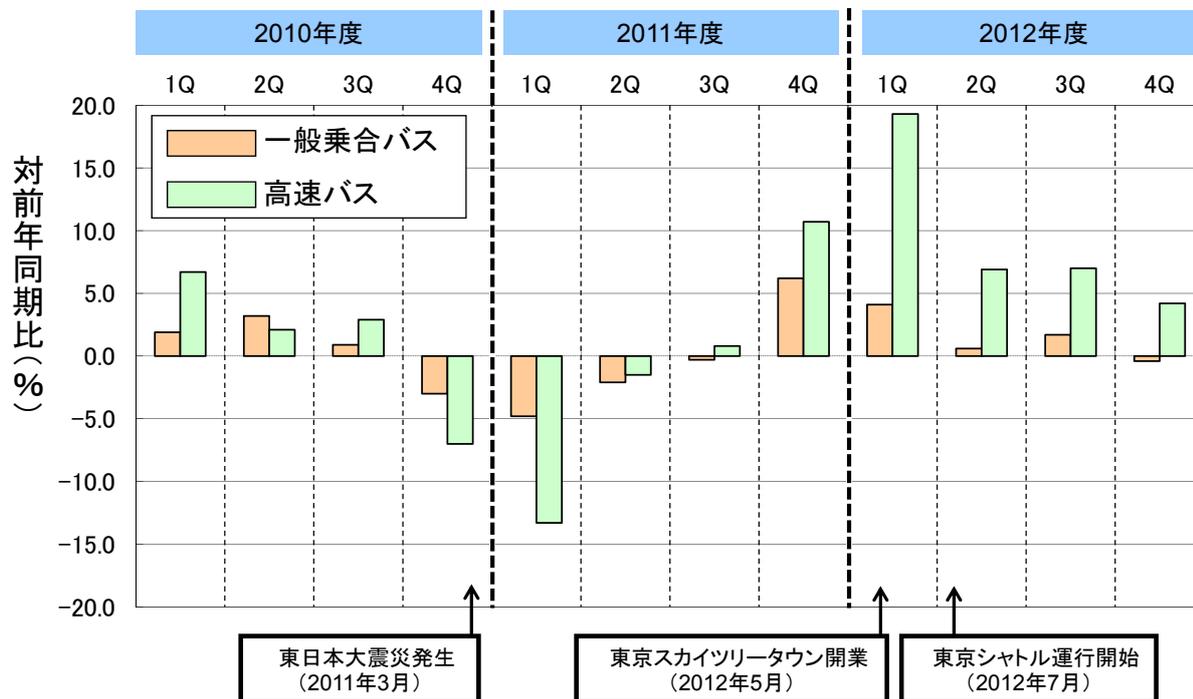
### ◇営業施策の実施

- ・2011年4月、スカイライナーの特急券・乗車券と東京メトロの1日乗車券(又は2日券)がセットになった  
訪日外国人向け乗車券を発売開始
- ・2011年7月、京成線の都内エリアが乗り降り自由となる企画乗車券「下町日和きっぷ」を発売開始

# バス事業の達成状況①

## ◇バス運送収入(対前年同期比)の四半期別推移

- ・震災の影響から回復(2011年度第4四半期以降、対前年同期比増)
- ・増収要因: 震災反動増、新規需要(成田空港国内線LCCに対応した路線新設)



# バス事業の達成状況②

## 新規需要への対応

### ◇東京スカイツリータウン開業への対応

#### 路線の新設・経路変更

- ・東京スカイツリー周辺を運行するコミュニティバス「墨田区内循環バス」を新設(2012年3月)
- ・高速バス「東京スカイツリータウン～TDR線」(2012年5月)ほか、路線バス含め計3路線新設
- ・高速バス「TDR・上野～奈良線」を東京スカイツリータウン前経由に変更(2012年6月)

### ◇LCC需要への対応

#### 東京シャトルの新設

- ・東京駅～成田空港間に、低料金の高速バス「東京シャトル」を新設(2012年7月)
- 早朝・深夜時間便を設定し、LCC国内線等の需要に対応
- 1日30便で運行開始し、現在は1日65便を運行(2013年3月、ダイヤ改正により大幅増便)

### ◇高速バス路線の拡充

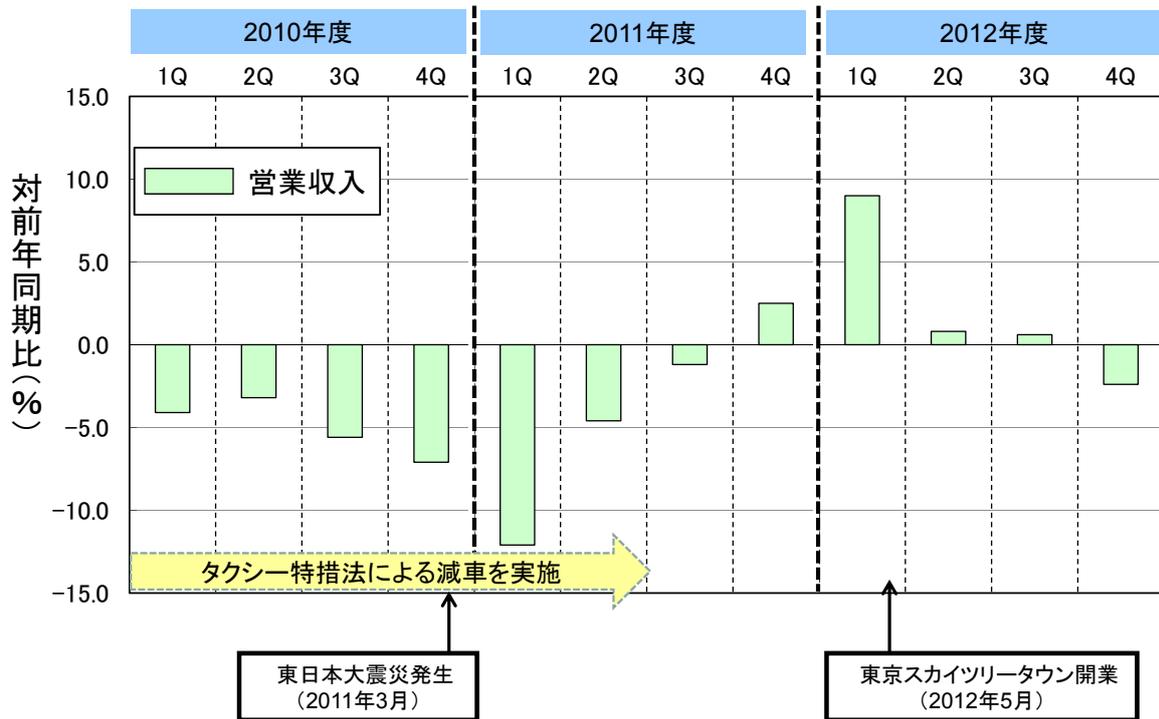
#### マイタウン・ダイレクトバスの拡充(2路線→5路線)

- 「千葉市ベイエリア～東京駅・国際展示場駅・東雲車庫線」(2012年4月)ほか計3路線新設

# タクシー事業の達成状況①

## ◇営業収入(対前年同期比)の四半期別推移

- ・震災の影響から回復(2011年度第4四半期以降、対前年同期比増)
- ・特殊要因:「特定地域タクシー事業適正化・活性化特別措置法(タクシー特措法)」(2009年10月施行)により減車



# タクシー事業の達成状況②

## グループのスケールメリットを活かした営業力強化

### ◇配車効率の向上

#### デジタル共同無線(※)の導入(2011年8月～)

- ・「京成グループタクシー無線センター」を新たに設置し、無線配車業務を集約  
東葛エリア並びに京葉・千葉エリアにおいて、共同配車サービスを開始
- ※GPSにより、お客様に最寄りの車両を検索し、迅速な配車を可能とするシステム

### ◇お客様サービスの向上

#### スマートフォン用配車アプリ「ココきて・TAXI」によるサービスを開始(2013年1月、帝都自動車交通)

- ・お客様がスマートフォンを使用し、タクシーの配車手配ができるサービスを開始

### ◇東京スカイツリータウン開業への対応

- ・帝都自動車交通では、東京スカイツリータウンの通常乗り場並びにEV・HV専用乗り場への乗り入れ開始(2012年5月)  
これに合わせ、ハイブリッドカー「プリウス」を新たに導入



ハイブリッドタクシー「プリウス」

## 多様化するお客様ニーズへの対応・店舗運営の効率化

### ◇水戸京成百貨店 リニューアル

- ・店舗1階(特選ブティック売り場)において、ルイ・ヴィトン売り場を増床(2012年9月)

### ◇京成ストア 新規出店ほか

- ・グループバス会社の本社営業所跡地にスーパーマーケット「ミナーレ本千葉店」開店(2010年4月)
- ・不採算店舗2店を閉店(2012年1月、ららぽーと店ほか)
- ・既存店5店を全面リニューアル(2012年9月、幕張本郷店ほか)

### ◇コンビニエンスストアのブランド変更・新規出店

- ・フランチャイズ本部の経営統合により、運営するコンビニエンスストアのブランドをam/pmから、ファミリーマートへ変更(2010年度上期)
- ・新規出店等により、運営する店舗数が3店舗増加(16店舗→19店舗)

## 不動産賃貸資産の拡充

### 【E1プラン期間中の主な新規稼働物件】

- |            |                       |
|------------|-----------------------|
| ・有料老人ホーム   | 【千葉市中央区】(2011年5月稼働)   |
| ・賃貸型通所介護施設 | 【船橋市宮本】(2012年2月稼働)    |
| ・ビジネスホテル   | 【台東区浅草】(2012年3月稼働)    |
| ・賃貸型保育施設   | 【鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷】(2012年3月稼働) |
| ・高架下賃貸施設   | 【船橋市本町】(2012年10月稼働)   |
| ・賃貸住宅      | 【船橋市本町】(2013年1月稼働)    |

## 沿線活性化に寄与するマンションの分譲

### 【E1プラン期間中の販売物件】

	販売戸数	
・サングランデ千葉みなと	85戸	【千葉市中央区】(2010年2月竣工、全戸完売)
・サングランデ印西牧の原ドアシティ	204戸	【印西市原】(2010年8月～2013年4月まで順次竣工)
・サングランデ亀有親水公園	41戸	【葛飾区亀有】(2012年2月竣工、全戸完売)
・サングランデ公津の杜グレイス	206戸	【成田市公津の杜】(2013年3月竣工、全戸完売)
・その他中高層物件	34戸	【成田市公津の杜】ほか2物件
合 計	570戸	

# 「E2プラン」数値目標

	2013年3月期 (2012年度 実績)	2016年3月期 (2015年度 目標)
営業利益 (営業利益率)	230億円 (9.4%)	230億円以上 (9.5%以上)
経常利益	306億円	310億円以上
有利子負債残高 (EBITDA倍率)	3,935億円 (8.8倍)	3,550億円以下 (7.7倍以下)

# 「Eプラン」数値計画の推移

期間	各経営計画 最終年度目標数値				主な実施内容／インパクト事項 (上段) (下段)
	営業収益	営業利益 (営業利益率)	経常利益	有利子負債残高 (EBITDA倍率)	
<b>実績</b> E1プラン 2010年度 ～2012年度	2,441 億円	230 億円 (9.4%)	306 億円	3,935 億円 (8.8倍)	・成田スカイアクセスの開業 ・高速バス路線の拡充 東京シャトルの営業開始 ・成田空港年間発着枠27万回化
<b>目標</b> E2プラン ～2015年度	—	230以上 (9.5%以上)	310以上	3,550以下 (7.7倍以下)	・本社移転、押上本社跡地開発 ・京成バス船橋営業所跡地開発 ・成田空港年間発着枠30万回化 ・羽田空港国際線年間発着枠9万回化 ・消費税率改定
E3プラン ～2018年度	—	—	—	—	
E4プラン ～2021年度	2,800	280 (10.0%)	—	3,500 (7.0倍)	

本資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

<http://www.keisei.co.jp/keisei/ir/top.cgi>

本資料の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、リスクや不確実性を含んだものです。

実際には様々な要因により異なる結果となる場合があることをご承知おきください。